

空飛ぶクルマの充電インフラ事業参入に向けた SkyDrive への充電設備の提供

2023年11月7日
関西電力株式会社

当社はこれまで、株式会社 SkyDrive（以下、SkyDrive）と共同で、空飛ぶクルマの運航効率化および収益の最大化につながる充電設備の研究・開発を進めてきました。

この度、空飛ぶクルマの充電インフラ事業への参入を見据え、当社が開発を進める充電設備を SkyDrive の飛行試験場へ納入し、大阪・関西万博での使用に向けて実証を進めてまいります。

また、当社は本日から、本充電設備の導入について、国内外のお客さま^{※1}の先行受付を開始しました。

今後、先行発注いただいたお客さまに対する空飛ぶクルマの充電設備の納入および実利用開始を目指します。

当社は国内外の空飛ぶクルマのステークホルダーと連携し、空飛ぶクルマの社会実装を推進してまいります。

【関西電力の空飛ぶクルマ用充電設備の特長】

1. SkyDrive が開発する「SKYDRIVE」をはじめ、空飛ぶクルマに必要な高電圧・大電流での超急速充電を実現する安全性仕様・設計
2. バッテリー冷却装置を使用することで、空飛ぶクルマの地上での待機時間を短縮し、ポート運営及び運航を高収益化
3. SkyDrive 以外の空飛ぶクルマメーカーにも適応できるような汎用的な仕様・設計
4. エネルギーマネジメントシステムと接続し、再生可能エネルギーを電源として充電することで、カーボンニュートラルな空飛ぶクルマの運航を実現^{※2}

【充電設備の先行受付に係る連絡先】

関西電力株式会社

ソリューション本部 開発部門 eモビリティ事業グループ

aam-emobility@a2.keppco.co.jp

※1：ポート事業者さま、運航事業者さま、リース事業者さま、個人のお客さま等。

※2：充電設備に加え、発電設備や蓄電池等の追加設備が必要となる場合があります。

以上

別紙：SkyDrive の概要

SkyDrive の概要

SkyDrive は、独自開発の新技术を活用し、軽量・3人乗りの運航が可能な空飛ぶクルマ「SKYDRIVE」を開発しています。

2025年の大阪・関西万博での空飛ぶクルマの運航を目指します。その後、2026年に型式証明を取得し、量産および納入開始を目指しています。

設立年	2018年7月
代表者	代表取締役CEO 福澤知浩
本社所在地	愛知県豊田市挙母町2-1-1
事業内容	<ul style="list-style-type: none">空飛ぶクルマ（電動垂直離着陸型航空機（eVTOL））の開発・製造・販売・運航サービス等物流ドローンの開発・製造・販売・運用サービス・コンサルティング等

以上